

報 告 書

二酸化塩素ガスを用いた病室消毒（実験 07）

サンプル日時：2010年11月06日

検査場所：守口生野記念病院（28㎡）

判 定：守口生野記念病院 検査科

● はじめに

塩素系消毒薬は衛生物に対し抗衛生物効果がある事は以前より知られており、今回、二酸化塩素ガスによる効果を実験する事とする。

● 方 法

溶存ガス薫蒸装置（OX Pro—Quick Release）を使用し、病室（個室28㎡）において二酸化塩素ガス発生前にスタンプ式培地にて検体を採取し、開放・閉鎖を同じ条件の下、床に置き、溶存ガス薫蒸装置にOX Pro—Q錠（含有量12%）を投入、2時間二酸化塩素ガスを発生させた後、スタンプ式培地にて同じ場所より検体を採集。落下細菌用培地を回収し、24時間培養と48時間培養をおこなう。

● 実験07

2010年11月6日

OX Pro-Q錠の効果のある有効使用濃度を確認するために実験を行う

病室28m³に対しOX Pro-Q錠を6錠使用

下記図面のとおり培養スタンプA～Eの5カ所にD錠 使用前、使用後を培養2枚のハートインフュージョン培地にシュードモナス、2枚のMS - CFX寒天培地にMRSAを塗抹し、フタを開放したものと閉鎖したものを静置

● 結果

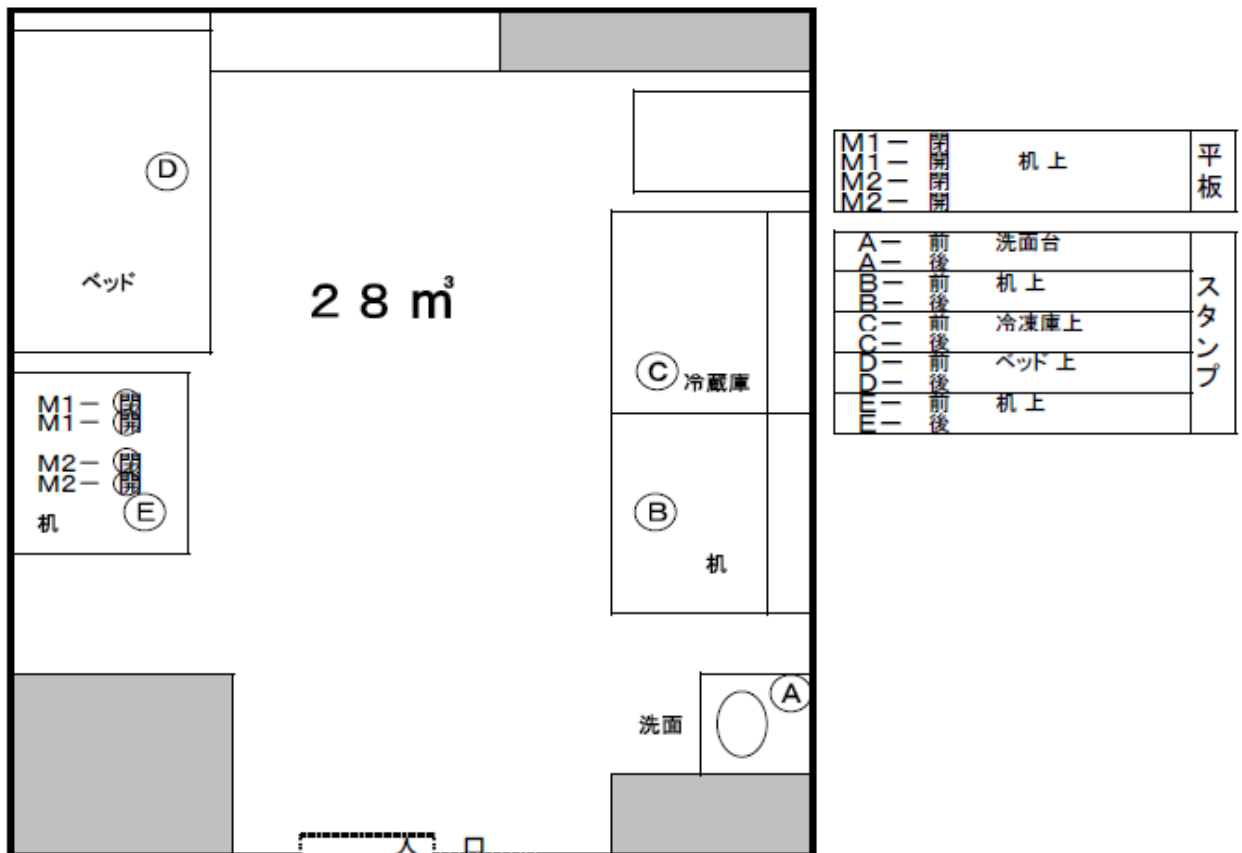
クリーンスタンプ：ガス使用前、A～E5カ所中全培地にてコロニー0～小数認める
ガス使用后、A～E5カ所中全培地にてコロニー0～小数認める

ハートインフュージョン培地：培地開放においてシュードモナス増殖を認めない

MS - CFX 培地開放においてMRSA増殖を認めない



*使用培地：クリスタリア SCDLP寒天・ハートインフュージョン寒天培地・MS-CFX寒天培地

*使用薬剤：OX Pro-D錠を6錠剤使用（1錠中含有量12%）



- .15:20 除菌前 除菌前スタンプ A～E
- ～
- .15:30 平板培地 M1～M2 設置
除菌開始 2時間
- ～
- .17:30 除菌後 平板培地 M1～M2 回収
除菌後スタンプ A～E

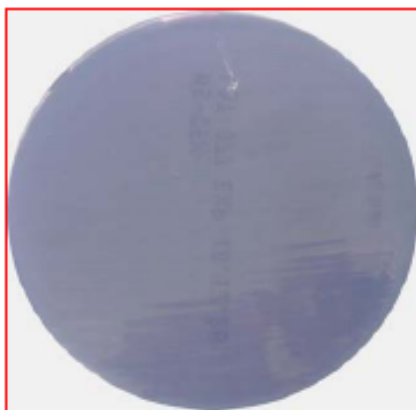
平板培地結果 (守口)

MRSA			
場所	条件	48時間	
M1	机上	閉	
		開	

<i>Pseudomonas aeruginosa</i>			
場所	条件	48時間	
M2	机上	閉	
		開	

拡大画像


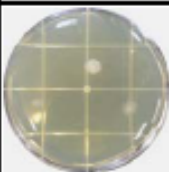







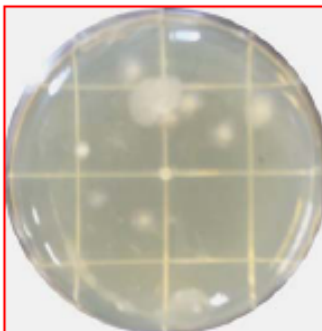

MASA
(開)



Pseudomonas aeruginosa
(開)



スタンプ培地結果 (守口)

場所	条件	48時間		場所	条件	48時間
A 洗面台	前			D ベッド上	前	
	後				後	
B 机上	前			E 机上	前	
	後				後	
C 冷蔵庫上	前		拡大画像 A-洗面台(後)			
	後					

クリーンスタンプ サンプル No.	48 H		
	白色	黄色	真菌
M-A-前	2	1	8
M-A-後	1	0	8
M-B-前	1	0	1
M-B-後	0	0	2
M-C-前	1	0	7
M-C-後	1	0	8
M-D-前	2	0	4
M-D-後	1	0	4
M-E-前	1	0	1
M-E-後	0	0	0